

# こ だ ま

## 第707号



### 岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会

住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号

電話／019(654)4411

FAX／019(654)4420

URL／<https://iwatemoriren.org>

## 県森連盛岡木材流通センター

### 秋期優良材展示会(後期)開催

十一月十九日、盛岡木材流通センターにおいて、令和二年秋期優良材展示即売会(後期)が開催され、一、六二一m(前年度対比六十六%)の素材が落札された。落札率は八十三%。

主な落札結果は本誌三面のとおりとなり、ナラの四m材は三陸北部森林管理署、ウダイカンバの四・四m材は仙台森林管理署の出品材である。また、いずれも前年度対比で、スギが取扱材積六十九%、落札価格六十二%、アカマツが取扱材積四十九%、



展示即売会の様子

落札価格二十六%と大きな下落となったが、広葉樹に関しては、同じく前年度比で取扱材積六十九%、落札価格九十六%であり、一mあたりの単価が三〇、〇八四円(前年度比百三十八%)と高くなっている。

この状況に対し、田口岩手県森連木材部長は「スギ材においては、本年三〜四月頃から続いていた合板工場の原木受け入れ制限が十一月からは無くなったものの、山の生産が追い付かず、丸太が集まらない状況である。また、新型コロナウイルスにより、岸和田だんじり祭をはじめとする全国各地のお祭りが中止となり、だんじりの車輪に使用するアカマツの需要が大きく落ち込んだ。昨年は名古屋城天守閣の木造復元事業によりアカマツの需要が多かったこともあり、今年度のアカマツの実績の下落が目立つ。

県内製紙工場の稼働率低下によってパルプ材の需要が減少、広葉樹全体の伐採量が減る一方、戸建て需要の増加などもありフローリング用のナラ材の需要が増加してきており、広葉樹(用材)の単価上昇につながっ

た。また、個人の木工作家に対し注文が増加していることから、コロナ禍の自粛生活において、一点ものの需要が増えてきていると言える。こうした需要の増加を受け、ナラ・サクラ・オニグルミ等の広葉樹の価格が高まっていることは喜ばしい。

また、スギ材の役物系の需要はコロナ前と変わらずにあることや、合板工場の原木受け入れ制限も無くなったことで、今後の木材市場の動向について期待が持てそうである。」と話している。

また、広葉樹丸太を数多く取り扱う盛岡木材流通センターには、ここ数年、多くの団体が見学に訪れている。十月二十六日には、盛岡市のジョブカフェいわてが主催する「森のし



米澤グループ長による丸太の説明の様子

「ごと見学会」に参加した岩手県立盛岡農業高等学校の生徒三十二名(環境科学科一年生)が同センターを訪れた。見学会では、木幡岩手県森連

指導グループ長による岩手県森連の仕事内容の説明の後、土場において米澤岩手県森連共販グループ長が丸太についての説明を行った。

## 令和二年度第一回幹部職員候補研修会開催される

## 令和二年度岩手県森林組合理事研修会開催される

令和二年度第一回岩手県森林組合幹部候補職員研修会が、令和二年十月十三日にマリオス会議室で開催された。

現在の県内森林組合において、参事クラス幹部職員の多くが定年後引き続き同職を務め、もしくはあと数年内で定年を迎える見込みであるなど、ここ十数年組合事業

運営を牽引してきた組織体制が大きな節目を迎えていることを受け開催された本研修会には、県内各林組合において、課長・支所長・課長補佐を務める、おおよそ三十〜四十歳代の職員を中心に、五十五名が出席した。

令和二年度岩手県森林組合理事研修会が、令和二年十一月十三日にマリオス会議室で開催された。今回の研修会には、県内十七森林組合から八十二名の理事等が出席した。

研修では、農林中央金庫仙台支店営業第七班次長藤村亮佳氏が「仕事におけるタイムマネジメントの概要」として、中間管理職の役割や心得等について説明した後、DVDを用いて中間管理職の心得の一つであるタイムマネジメント(時間管理)のポイントについての説明が行われた。

最初に、岩手県農林水産部団体指導課主任主査伊東雄一氏により「改正森林組合法の概要について」と題し、令和二年六月に公布され、令和三年四月から施行する「森林組合法の一部を改正する法律」について、森林組合の現状や、森林組合を取り巻く近年の情勢等の背景の説明の後、改正の概要について講義が行われた。



岡田香織氏による講義の様子

次に、ジョブカフェいわてキャリアアカウンセラーの岡田香織氏から「現代の若者の仕事観と上手な管理・育成事例」についての講義が行われた。岩手県における若者の離職状況や仕事選びの基準等の説明の後、OJTの目的と重要性について具体的なケース検討等を行った。

次に、昨今の森林組合をめぐるコンプライアンスについて、澤口岩手県森林組合連合会代表理事専務より講義が行われ、森林組合系統における不適正事案発生状況についての説明の後、不適正事案の発生を防ぐ主な視点と対策及び事業管理の徹底について、説明があった。



佐藤重芳氏による講義の様子

最後に、秋田県森林組合連合会代表理事会長佐藤重芳氏より「人と環境における森林の価値と山の循環を取り戻せ」と題し、現在の森林に起きている諸問題やその原因等について、森林環境税の創設に関わった自身の経験を踏まえた講義が行われ、森林環境譲与税の用途について詳しい説明があった。講演後、出席した理事との意見交換が行われ、研修会は盛会裡に閉会した。

# 岩手県森林組合連合会 11月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級(m)	径級(cm)	標準価格(1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	8,000	↑
	3.65	18~28	11,000	↑
	3.65	30上	10,800	↑
	3.65	40上	10,500	→
	3.00	14~18	10,500	→
	2.00	18上	7,000	→
アカマツ	4.00	18~22	9,800	↑
	4.00	24~28	10,000	↑
	4.00	30上	11,000	↑
	4.00	40上	12,000	↑
	3.00	18~28	9,000	↑
	3.00	30上	10,000	↑
	2.20	40上	11,500	↑
	2.00	18上	8,000	→
	カラマツ	4.00	14下	12,000
4.00	16~28	14,500	↑	
4.00	30上	15,000	↑	

令和二年度JForest全国森林組合  
代表者大会表彰受賞者決定

**本県からは功労者表彰者十五名  
感謝表彰者一名表彰される**

本年十一月十九日に開催予定であった全国森林組合代表者大会が、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、開催中止となった。

大会は中止となったが、表彰審査委員会による審査を経て、永年にとり、組織の発展に功労があった方(常勤役員通算十年以上、代表理事通算六年以上、職員通算二十年以上、作業班員通算五年以上かつ過去三カ

年の年間就労日数が百五十日以上)に贈られる「功労者表彰(永年勤続)」組織の発展に功績のあった組合・連合会及び組合・連合会の役員(森林施業プランナーの育成や組合員及び系統間の連携強化、コンプライアンス態勢の強化や広域合併等)、定年により退任又は退職し、功績のあった役員(勤続三十年以上)、系統経済事業発展への功績が認められる団

体・個人に贈られる「感謝表彰」などの受賞者が決定した。

本県からの全国森林組合連合会会長表彰受賞者は次のとおり。

**I 功労者表彰(永年勤続)**

・単位組合職員

熊原 誠 (盛岡広域森林組合)

高橋 久祐 (盛岡広域森林組合)

吉田 浩幸 (盛岡広域森林組合)

高橋 信 (奥州地方森林組合)

野露 仁 (陸前高田市森林組合)

・現場技能者

竹澤 忠利 (盛岡広域森林組合)

佐々木 直樹 (盛岡広域森林組合)

伊藤 充 (花巻市森林組合)

**II 感謝表彰**

・連合会職員

横屋 正実 (岩手県森林組合連合会)

佐藤 信泰 (奥州地方森林組合)

佐藤 勇人 (一関地方森林組合)

佐藤 啓三 (一関地方森林組合)

菅原 隆一 (一関地方森林組合)

鍛冶ヶ澤 文男 (宮古地方森林組合)

小坂 正雄 (宮古地方森林組合)

佐藤 実 (宮古地方森林組合)

盛岡木材流通センター 主な高値落札物件 (11/19)

樹種	長さ(m)	径級(cm)	㎡単価(円)	樹種	長さ(m)	径級(cm)	㎡単価(円)
ミズメ	3.60	52	115,000	ナラ	4.00	70	129,990
ホオ	2.20	42	125,000	ナラ	2.20	52	82,900
サクラ	3.00	48	71,500	ウダイ	4.40	40	56,900
イタヤ	3.60	54	105,000	ケヤキ	2.00	102	97,000
キリ	2.00	40	77,000	シナ	2.20	36~50	40,900
黒柿	1.00	40	223,000	クリ	5.20	58	312,312
セン	4.00	82	140,000	オニグルミ	8.60	54	178,880

# スギが不足

県内合板工場の生産は、昨年同時期まで回復。スギ、カラマツが不足し始めている工場もある。県内センターの取扱量は前年度比83%。先月に比べ、出荷量は増加した。

スギは、中目材の出材も増加し、引き合いも強くなってきている。役物用丸太の不足により価格は上昇傾向。

カラマツは、若干安値ではあるが中目材の引き合いは強い。細材は変わらず保合。特に4mの6~12cm杭材の引き合いが強い。

盛岡センターの出荷量は、例年通り。スギ中目材の入荷は多いものの、役物用丸太の入荷は少ない。広葉樹の引き合いは強い。特にナラ、クリ、鬼グルミ、イタヤ、トチは人気があり、価格も強含み。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (m<sup>3</sup>当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	10月22日	10月7日	10月26日	10月16日	10月8日	10月6日	10月21日	10月29日	開催せず	10月27日
スギ	2.00	18cm上	7,000	-	6,700	-	-	-	7,200	7,050	-	6,800
	3.00	14~18	-	-	-	10,620	-	-	-	-	-	10,800
	3.65	18~28	-	-	-	11,250	-	-	-	11,020	-	11,300
	3.65 4.00	30cm上	30,500 10,600	11,830	10,260	11,600	11,050	-	10,800	22,000 9,500	-	13,160 11,000
	4.00	10~16	7,500	6,000	8,300	8,840	8,480	-	-	7,200	-	8,150
落札数量	4,069 m <sup>3</sup>		685	342	622	460	150	0	304	842	0	664
アカマツ	2.20	36cm上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.00	14~28	-	-	-	-	-	-	9,000	-	-	-
	4.00	18~28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	30cm上	11,000	12,000	-	-	-	12,900	-	10,500	-	-
落札数量	306 m <sup>3</sup>		42	9	0	0	0	62	9	154	0	30
カラマツ	4.00	7~13	11,000	-	12,000	-	-	12,600	-	-	-	-
	4.00	14~28	16,200	-	14,500	13,820	-	14,600	16,000	13,750	-	-
落札数量	829 m <sup>3</sup>		239	0	160	8	0	269	57	96	0	0
出荷数量	7,255 m <sup>3</sup>		2,332	453	868	506	181	528	483	1,124	-	780
落札数量	6,707 m <sup>3</sup>		2,020	416	791	475	150	526	466	1,124	-	739
平均落札率	92%		87%	92%	91%	94%	83%	100%	96%	100%	-	95%
延べ参加者	230名		71	29	19	11	5	26	26	20	0	23

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外も含まれます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配		○	○		○	○	○	○	○	○	○
保合い	○			○							
弱気配											

### 造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること